

町に関係する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

バレーボール日本代表が来町

町総合体育館復旧記念事業

町総合体育館で7月26日、バレーボール講習会が開催されました。

これは、同体育館の復旧記念事業として、町バレーボール協会の協力のもと行われたもので、講師として、日本代表の清水邦広選手を含む、Vリーグチーム「パナソニックパンサーズ」の選手を招いて開催されました。

講習会に参加したのは、町内の幼児から中学生までの子どもたち30人。憧れの選手に教えてもらえる喜びに目を輝かせていました。

講習に先立ち、西村町長が「技術だけでなく、心も学んでほしい」と、同チームの南部正司ゼネラルマネージャーが「復旧・復興に向かう町の子どもたちに教えることができ、光栄」と、それぞれあいさつしました。

講習が始まると、選手たちの顔も真剣に…。と思いきや、「パンサーのポーズ」など遊びの要素も取り入れた準備運動やレシーブ、トスなどの指導が行われました。

最後は、子どもチーム対選手でのボール2個を使った変則試合が行われ、子どもたちは戸惑いながらも、点数が入るたびに大喜びしていました。

講習終了後には、選手から子どもたち全員に、サプライズでTシャツがプレゼントされ、さらに、じゃんけん大会ではサイン入り練習着などが送られました。

最後に、同協会青木一幸会長が選手たちにお礼を述べ、選手たちは来期の優勝を誓い、閉会となりました。



1パナソニックパンサーズの選手の皆さん。左から伊賀亮平選手、久原翼選手、清水選手、兒玉康成選手、仲本賢優選手、深津英臣選手 **2**まずはみんなでランニング **3**合図に合わせてポーズをとりながら、2人でボールを取り合って反射神経を鍛える練習。一番左の兒玉選手がとっているポーズが「パンサーのポーズ」 **4**レシーブの基本を教わります **5**選手がアタックしたボールをレシーブする練習 **6**憧れの選手たちと試合 **7**幼児たちもコートに立ちました **8**サプライズでプレゼントされたTシャツを見せ合う子どもたち **9**その場で練習着にサインしてくれました **10**景品を懸けたじゃんけん大会。掛け声は「最初はパンサー！じゃんけんポン」 **11**じゃんけんの勝利者に選手から直接景品を手渡し

Best Smile

今月のベスト笑顔

